

「釧路公立大学生による地域課題検討会」
－ 釧路公立大学×厚岸町×釧路財務事務所の取組－
(実施報告)

令和8年6月25日

釧路公立大学、厚岸町、釧路財務事務所

「釧路公立大学生による地域課題検討会」を開催しました（実施報告）

釧路財務事務所では、令和3年から、釧路公立大学生が厚岸町職員とともに町が抱える地域課題をテーマにその解決策を考える検討会を実施しています。

本検討会は全3回構成となっており、まず第1回で、厚岸町職員・釧路財務事務所職員が町の概要や財政状況について講義を行います。その後、学生はグループに分かれ、町が抱える課題について調査・分析を行い、それらの課題を解決するための施策を検討します。第2回目に中間発表を行い、第3回で学生が検討した施策について、厚岸町職員・釧路財務事務所職員に報告します。

令和7年までは、全ての講義を大学において実施していましたが、令和8年は学生が厚岸町役場を訪問し、厚岸町職員へ向けて施策の発表を行いました。また、学生・厚岸町職員・釧路財務事務所職員の三者による意見交換会を実施したことにより、各主体が相互に意見を共有し、理解を深める有意義な機会となりました。

開催日時・会場

第1回：令和8年4月23日（木）14:50から16:20	（釧路公立大学）	講義
第2回：令和8年5月21日（木）14:50から16:20	（釧路公立大学）	中間発表
第3回：令和8年6月4日（木）11:00から17:15	（厚岸町役場）	最終報告会

参加者

学生17名、教授1名、厚岸町職員約50名、釧路財務事務所職員7名

主催

釧路公立大学、厚岸町役場、釧路財務事務所



地域課題検討会の全体の流れ

第1回：4月23日 14:50～16:20

@釧路公立大学



検討会概要説明



厚岸町の現状について



財務局財政講義

第2回：5月21日 14:50～16:20

@釧路公立大学



中間発表・質疑応答



最終報告会へ向けた
班内打合せ



役場職員向け
財務局財政講演



午前中

第3回：6月4日 14:00～17:15

@厚岸町役場



東教授講演



最終報告会

振り返り・意見交換



地域課題検討会 第1回の模様（4月23日・釧路公立大学 教室）

厚岸町職員・釧路財務事務所職員の講義の様子

厚岸町職員・釧路財務事務所職員から、学生へ向けて講義を行いました。講義では、厚岸町職員が、厚岸町の概況等に関して説明を行ったほか、釧路財務事務所職員から、厚岸町の財政状況について説明を行いました。

これをふまえ、学生は4つのグループに分かれて、厚岸町に関する調査・分析を行い、地域課題を解決するための施策の検討を始めていくことになります。



【厚岸町職員による講義】



【財務事務所職員による講義】



【財務事務所職員による課題の説明】



【参加する学生】

地域課題検討会 第2回の模様（5月21日・釧路公立大学 教室）

中間発表とその後の振返りの模様

学生が、厚岸町職員・釧路財務事務所職員に向けて、厚岸町の課題を解決するために考えた施策について、中間発表を行いました。中間発表をふまえ、厚岸町職員・釧路財務事務所職員からは、学生が考えをより深め、アイデアを具体的な施策として練り上げるために、アドバイスをを行いました。

参加した学生からは「馴染みのない地域を研究する大変さがあったが、厚岸町職員・釧路財務事務所職員とお話ができ、学びを深めることができた」といった意見・感想がありました。



【学生による中間発表】



【厚岸町職員によるアドバイス】



【財務事務所職員によるアドバイス】



【最終報告会に向けて施策を練り直す学生】

6/4
(木)

釧路公立大学生による地域課題検討会 @厚岸町役場



第1部 11:00～12:00

財政講演



概要

釧路財務事務所が、令和5年度決算に基づき診断した厚岸町の財務状況について、類似団体との比較等を交えて、わかりやすくご説明いたします。

講師

財務省北海道財務局 釧路財務事務所 財務課職員

第2部 14:00～14:45

東教授講演



概要

地方財政学を専門分野とされている、釧路公立大学 東教授より、地方財政についてご講演いただきます。

第3部 15:00～16:30

最終報告会



概要

釧路公立大学生が、厚岸町総合政策課・釧路財務事務所と、厚岸町の地域課題解決策について検討しました。その成果を役場職員のみなさまに報告します。

発表者

釧路公立大学 東教授ゼミ 3年生 17名（4グループ）

第4部 16:40～17:15

学生との意見交換

概要

若手・中堅職員のみなさまを中心に、釧路公立大学生との意見交換の場を設けさせていただきます。

地域課題検討会 第3回の模様（6月4日・厚岸町役場 会議室）

第1部 財政講演の模様

「厚岸町の財政状況について」と題して、釧路財務事務所職員が講師となり、町財政に関する勉強会を開催しました。勉強会では、決算統計上の数字からわかる、町の財政状況と今後の見通しについて、財政融資資金の貸し手としての立場から解説を行いました。

参加した厚岸町職員からは「厚岸町は他団体に比べ財政規模が大きくなっているが、その中身は地方債とそれに伴う交付金の割合が多く、国の制度への依存度が高い体質であり、地方債を減らし、ミニマムな財政運営としていく必要があると感じた」といった意見・感想がありました。



【釧路財務事務所による財政講演】



【厚岸町職員による質疑・感想等】



【参加者の厚岸町職員】



【参加者の厚岸町職員】

地域課題検討会 第3回の模様（6月4日・厚岸町役場 会議室）

第2部 東教授による講演の模様

「釧路地域の課題と地方公共財の最適供給」と題して、釧路公立大学東教授より講演を行いました。講演では、釧路地域の現状・課題について説明を行ったほか、地域への公共財供給量の決定にあたり検討すべき事項を、地方財政論の理論分析等を用いて解説しました。

参加した釧路財務事務所職員から、分析の仮定条件について質問が挙がり、「現実的なシミュレーションを行おうとすれば、自ずと仮定が複雑になってしまう。分析においてはある程度シンプルに計算したいので、バランスの取り方が難しい」と解説する場面もありました。



【東教授による地方財政講演】



【財務事務所職員による質疑・感想等】



【質問に回答する東教授の様子】



【参加する厚岸町職員の様子】

地域課題検討会 第3回の模様（6月4日・厚岸町役場 会議室）

第3部 釧路公立大学生による最終報告会の模様（グループ1－一次産業の後継者確保－）

グループ1は、生産年齢人口減少による産業の担い手不足により、多種多様かつ質の良い海産物が獲れる漁業、冷涼な気候による生産性の高い酪農環境などのポテンシャルを生かしきれていないことを課題に挙げ、課題解決に向けて、ベテラン漁業者が新規参入者を受け入れて後継者育成を行う「弟子型制度」、農学系の大学にターゲットを絞って既存の新規就農者支援制度をPRする施策を提案しました。

発表を聞いた釧路財務事務所職員からは、「漁業者の多くは高齢のため、『弟子型制度』のゴールに事業承継を据えてみても面白いかもしれない。ベテラン漁業者が引退するときに、自分が育てた後継者に機械を買い取ってもらい老後資金の足しにできるといったスキームが確立できれば、新規参入者を育てるインセンティブになるのではないだろうか」といった意見が述べられました。



【グループ1からの報告の様子】



【財務事務所職員による質疑・感想等】



【質疑に対して回答する学生の様子】

地域課題検討会 第3回の模様（6月4日・厚岸町役場 会議室）

第3部 釧路公立大学生による最終報告会の模様（グループ2－フードダイバーシティによる交流人口増加－）

グループ2は、宗教・文化・健康上の理由などに基づく異なる食習慣を尊重する「フードダイバーシティ」の取組に着目、厚岸町の豊かな食資源をより多くの方に受け入れてもらえる形に進化させることで、新たな文化圏も含めた交流人口の増加から人口増加に繋がりたいとし、フードダイバーシティに配慮した牡蠣の加工食品事業を提案しました。

発表を聞いた釧路財務事務所職員から、「フードダイバーシティという、あまり聞きなれない概念を取り入れようと思いついたきっかけがあれば教えて欲しい」との質問が挙がり、メンバーの1人は「私の出身地では実際にフードダイバーシティに取り組んでおり、地元で見聞きした興味深い取組を厚岸町でも活かしてみたいと思った。特に外国人観光客からの人気が高い北海道において実施することで、高い効果が期待できると考えた」と回答していました。



【グループ2からの報告の様子】



【財務事務所職員による質疑・感想等】



【質疑に対して回答する学生の様子】

第3部 釧路公立大学生による最終報告会の模様（グループ3－大学生協とのコラボ商品開発－）

グループ3は、全国各地の出身者が集まる釧路公立大学で厚岸町のPRを行うことで、費用対効果が高く厚岸町の認知度向上に繋がれると考え、大学生協と厚岸町のコラボメニューを食堂で販売し、将来的にはECサイトでの販売・厚岸町観光の際の食事メニューとしての提供を目指す施策を提案しました。この施策により、短期的に見て大学生に対する認知度が向上するのみならず、大学とのコラボにより「産学連携の町」「若者が活性化に携わっている町」というブランディングが生まれ、全国的な知名度を獲得することで、前述のECサイト販売やふるさと納税の売上向上にも繋がり、町の税収増加も期待できると説明しました。

発表を聞いた厚岸町職員から、生協でのコラボ実績の有無について質問された際には、季節のフェアや他県の料理特集のほか、鶴居村・釧路市水産課とのコラボ実績があると紹介し、施策の実現可能性をアピールしていました。



【グループ3からの報告の様子】



【財務事務所職員による質疑・感想等】



【質疑に対して回答する学生の様子】

第3部 釧路公立大学生による最終報告会の模様（グループ4－大学のサテライトキャンパス設置－）

グループ4は、年少人口・生産年齢人口が減少し高齢化が進行している現状に危機感を抱き、人口減少という大きなトレンドに歯止めをかけることは簡単ではないものの、いま厚岸町に住んでいる若者の流出を食い止める必要があるとし、厚岸町内の中高生をターゲットとした厚岸町と釧路公立大学の地域連携拠点（サテライトキャンパス）を設置する施策を提案しました。

発表を聞いた釧路財務事務所職員から、「施策の原資は町民の収める税金なので、その用途が町外ではなく町内の若者に向いているのは、町民の理解も得やすいのではないかと思った」との感想があったほか、厚岸町職員からは、「大学のサテライトキャンパスを厚岸町にという、大変嬉しい提案だった。この提案を実現していただけるよう、厚岸町が釧路公立大学にとって魅力的な地域となるために頑張っていきたい」との発言がありました。



【参加する厚岸町職員の様子】



【財務事務所職員による質疑・感想等】



【質疑に対して回答する学生の様子】

第3部 釧路公立大学生による最終報告会の模様（講評）

1か月半の検討と最終報告会を終えた学生に対し、釧路財務事務所長・厚岸町副町長より講評を行いました。厚岸町副町長は、「良くこれだけの短期間で課題を整理し、柔らかい頭で考えてくれたと感心した。面白い提案が数多くあったが、現実的な費用・効果を具体的数値で見込むところまで踏み込んでもらえると、より良かったと思う。みなさんからの提案を、職員が直接聞くことができ、大変ありがたい時間だった。」と激励しました。

報告会終了後には、3機関が集まっての記念写真撮影を行い、学生のみなさんの達成感に満ちた表情が見られました。



【釧路財務事務所長からの講評】



【最終報告会終了後の様子】



【厚岸町副町長からの講評】

地域課題検討会 第3回の模様（6月4日・厚岸町役場 会議室）

第4部 学生との意見交換の模様

学生の各グループに、厚岸町・釧路財務事務所の中堅・若手職員が参加し、最終報告会の振り返りのほか、ざっくばらんな意見交換を行いました。

厚岸町職員からは、大学生が検討・発表した内容について「良く考えられていて感心した」など率直な感想が寄せられたほか、学生からは、役場での仕事内容・公務員の部署異動について・仕事のやりがいなどについての質問があり、厚岸町職員・釧路財務事務所職員が自身の体験等も交えながら回答していました。



【ざっくばらんに話す学生と厚岸町職員の様子】



【最終報告会を振り返る学生と厚岸町職員の様子】

【学生の質問に回答する厚岸町職員の様子】

【厚岸町職員の話真剣に聞く学生の様子】